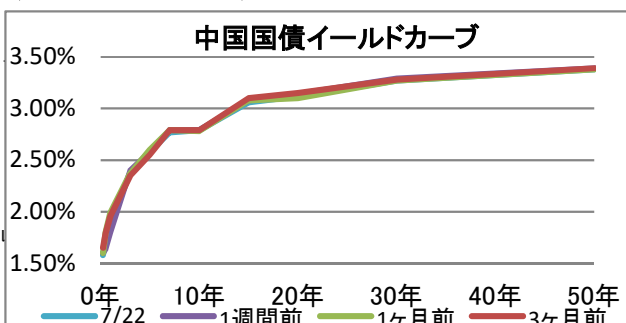
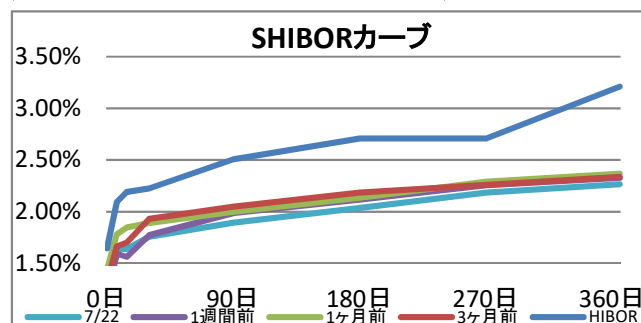


基準レート		2022/7/22	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7522	+0.0019
	JPY/CNY	4.9226	+0.0655
SHIBOR	3M	1.8930%	-0.0840%
国債利回り	10年	2.79%	+0.00%
上海総合指数		3,269.97	+41.91



(1) 概況

国際金融市場では、IT企業業績や米国での住宅市況悪化の懸念が高まる中でECBが11年ぶりとなる利上げ（+0.5%）を実施したこと、更に米FOMCを控えて欧州と米国のPMIが揃って50を割り込む落ち込みとなったことから、債券利回りが大幅に低下する展開となった。外為市場では、ECBの利上げや米国の景況感悪化によりドル高修正局面に入り。

中国金融市場では、コロナ感染再拡大や未完成物件の住宅ローン支払い問題等を背景に上値の重い展開が続いているものの、各種政策への期待から株式市場は小幅反発、債券市場は短期ゾーンが上昇（利回り低下）する展開となった。外為市場では、米中の景況感が意識されてドル人民元は引き続き底堅く推移し、一時6.77台まで上昇。

中国では、李総理が世界経済フォーラムで高い経済成長目標実現のために過度な政策を実施することはない旨を表明する中、国务院常务会议では経済回復には第3四半期は重要との認識を示して住宅市場の安定的発展や輸出に対する金融支援に言及し、銀保監会は金融機関にガバナンス強化や積極融資対応と適切な貸倒引当金計上を求め、中小銀行の重要性を強調し、農村信用社の統合推進や地方政府专项債による資本充実実施する方針を示している。国家外貨管理局も中国債券市場が国際的な市場となり、新興国向けの国際的な債券投資資金の多くを引き受ける市場となったことを強調。また、国家発展改革委は証監会と債券市場の民営企業支援に向けた改革に関する通知を発出するとともに、関連当局と企業債の利払いと償還に関するリスク管理強化の重要性について確認している。また、中国人民銀行は北京と深圳でのグローバル企業の人民元と外貨の資金プール一体管理を一段と拡充する改定を実施し、第5回デジタル中国建設サミットを開催している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日150億元に対し、新規リバースオペ280億元を実施し、ネットで130億元を供給している。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1940%	1.2100%	1.3300%	
1W	1.6350%	1.8300%	1.4000%	1.3000%
2W	1.6420%	1.8400%	1.7500%	1.5000%
1M	1.7570%	2.4000%	7.5000%	1.5800%
3M	1.8930%	3.4000%	2.0500%	1.7400%
6M	2.0380%	2.4880%	3.5500%	1.9000%
9M	2.1840%	3.4500%		2.0500%
12M	2.2660%	2.8500%	3.5500%	2.1750%

コロナ感染再拡大への懸念や市場参加者が中国人民銀行の柔軟な資金需給調整実施を好感したこと等から金利水準は一段と低下。ただし、当局の新規貸出増加要請等もあって市場運用余力は限定的と考えられ、ターム物は1ヶ月の1.80%前後の出合いを除き限定的。

NCDも、金利低下余地は限定的との認識から金利水準の変化は限定的で、安定した取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.55%前後、3ヶ月は1.7%台前半、6ヶ月は1.9%台前半、1年は2.1%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	1.52%	1.53%
1W	1.80%	2.00%
1M	2.10%	2.40%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.80%	3.00%
12M	3.40%	3.50%

FRBの急速な利上げへの懸念は後退しつつあるものの、ECBの利上げ等に加え、中国国内では国外からの中国向け投資資金流入の減少に伴うドル資金需給への影響もあって金利水準は上昇。ただし、中国国内市場では引き続き短期取引中心で、ターム物の出合いは限定的。ターム物は1ヶ月の2.3%前後での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.58%		1.80%	1.87%	2.05%
6M	1.69%		1.88%	2.02%	2.20%
1Y	1.90%	2.16%	2.18%	2.21%	2.44%
3Y	2.38%	2.54%	2.71%	2.74%	3.06%
5Y	2.58%	2.77%	3.00%	3.11%	3.79%
10Y	2.79%	3.03%	3.45%	3.63%	4.40%

債券市場では、コロナ感染再拡大や世界的なインフレ対策としての金融引締めによる景気への影響が懸念される状況となっているものの、主要国との金利差への警戒感を示す中国当局の姿勢から低下余地は限定的との見方が強く、短期債と信用債を中心として利回りが低下する展開となった。米国債利回りはFOMCを控えて乱高下しているものの景気後退懸念から一段と低下しており、米国10年国債利回りは金曜日の米国市場で中国10年国債の2.79%を下回ることとなった（米10年国債利回りは7/21に2.87%、7/22に2.75%に低下）。

イールドカーブは、短期債と信用債を中心に低下し、スティーピングが一段と進んでいる。クレジットスプレッドは信用債利回りの低下により中期ゾーンまでが大幅に縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-5.6 / -5.0
1M	-52.0 / -49.0
3M	-163.9 / -162.5
6M	-382.0 / -377.0
9M	-549.0 / -544.0
12M	-660.0 / -655.0

対ドル基準レートは6.7522と前週末比+19pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9226と同+655pipsの円高元安と、対ドルではドルの底堅さを映じた元安水準の出設定が続いている。中国国内市場では、海外市場でのドル全面高修正局面にも関わらず、国内景気先行き懸念や月末決済需要から人民元が弱含む展開が続き、一時6.77台までドル高元安が進み、その後もほぼ横ばい推移で週末を迎えている。

先物は、足下金利が米ドルは上昇を続け、人民元が横ばいから小幅低下する展開となったことを受けて、スワップ幅は一段と低下（マイナス幅拡大）しており、過後半には1年物が-600台後半まで低下している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.82%		1.69%
6M	1.94%	2.06%	1.77%
9M	2.02%	2.17%	1.85%
1Y	2.08%	2.28%	1.90%
3Y	2.36%	2.67%	2.00%
5Y	2.56%	2.97%	
7Y	2.70%	3.15%	
10Y	2.86%	3.32%	

スワップ金利は、債券利回りと短期金利の低下を受けて小幅な低下が続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期金利の低下を受けた小幅な縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。